

2022年8月24日

日本ペイント・オートモーティブコーティングス株式会社
代表取締役社長 武田川 信次

「トヨタのサステナビリティ実験 #発電中を広告中」を、
渋谷で8月24日(水)から実証展示
～街に溶け込み、場所を選ばず発電できる未来へ～

日本ペイントホールディングス株式会社のグループ会社で、自動車用塗料を手掛けている日本ペイント・オートモーティブコーティングス株式会社（本社：大阪府枚方市、以下当社）は、トヨタ自動車株式会社（本社：愛知県豊田市、以下トヨタ）と F-WAVE 株式会社（本社：東京都千代田区）と共同で、太陽電池の表面をデザインできる太陽電池向け加飾フィルム（以下、加飾フィルム）を2021年3月に発表いたしました。

この度、多くの方に加飾フィルムの技術を知って頂くべく、2022年8月24日(水)から26日(金)まで、SHIBUYA109 店頭イベントスペースにてトヨタ主体による「トヨタのサステナビリティ実験 #発電中を広告中」と題した展示を実施いたします。



カーボンニュートラル実現に向けた動きが加速する中、再生可能エネルギーのさらなる普及拡大を目指し、従来の黒色や紫色に加えて、周囲の景観に合わせてデザインできる太陽電池のニーズが高まっています。2018年に開発をスタートさせた太陽電池を覆う加飾フィルムは、2021年3月～継続中の熊本県での実証実験により、発電量を大幅に損なうことなく、太陽電池をカラフルに彩れることが実証されました。

今回、多くの方が行き交う渋谷で、「トヨタのサステナビリティ実験 #発電中を広告中」と題し、景観に溶け込みながら本当に発電できることを実証実験。発電した電気で扇風機を動かすことで、発電の見える化を図ります。

この加飾フィルムは、幅広いカラーバリエーションを持つため、軽量な太陽電池に装着すれば、店舗や家屋壁面、モビリティの外板などへの搭載が期待されます。また、シート状の太陽電池に装着すれば、衣類や鞆、アウトドアグッズに搭載し、歩きながら発電することも期待できます。

発電量については、青色の加飾フィルムを搭載した太陽電池で、1m²当たり 63W 程度の発電量を測定しました。

※熊本県に設置した 10m×10m サイズの加飾太陽電池の場合は、6.3kW 程度の発電量を試算

当社はこれからも、SDGs へ貢献できる商品開発を進めることで、株主価値の最大化に努めてまいります。

関連サイト

トヨタのサステナビリティ実験WEBサイト（8月24日公開）：<https://toyota.jp/info/sdgs/>

トヨタ SDGs への取り組み WEB サイト：<https://global.toyota.jp/sustainability/sdgs/>

関連リリースはこちら

開発時リリース：https://www.nipponpaint-holdings.com/news_release/2021033001/

【製品に関する問い合わせ先】

日本ペイント・オートモーティブコーティングス株式会社 フィルム事業部 佐治 徹
TEL: 072-857-5530 Mail: toru.saji@nipponpaint.jp

【報道機関からのお問い合わせ先】

日本ペイントホールディングス株式会社 広報部 趙、阿部
TEL : 050-3131-7416 Mail : nphd-kouho@nipponpaint.jp